

## 「補綴装置と歯周組織の接点」

～Tissue Stability を獲得できるカントゥア～

京都府開業 木林 博之

審美補綴治療では、セラミック修復物の形態、色調、自然観に注目しがちですが、辺縁部の形態も重要な要素の一つです。辺縁部の形態は歯周組織に影響を与えるため、その形態が不良の場合、ときには炎症をひきおこし、また歯肉退縮や歯間乳頭の形態異常を引き起こします。今回、「補綴装置と歯周組織の接点」と題して、クラウンやポンティックの歯肉縁下カントゥアにスポットを当て、各種文献と私見を交えてお話しさせていただきます。

### 講師略歴

昭和37年12月	札幌生まれ
昭和58年3月	大阪大学歯学部附属歯科技工士学校卒業
昭和58年4月～10月	Yデンタルラボラトリー勤務
平成4年3月	大阪大学歯学部歯学科卒業(39回生)
平成4年4月～9年3月	HYデンタルクリニック勤務
平成9年4月	きばやし歯科医院開設
平成15年3月	大阪大学歯学部歯学研究科卒業(歯学博士取得)
平成21年4月～	大阪大学歯学部附属歯科技工士学校非常勤講師
平成24年4月～	大阪大学院歯学研究科歯科補綴学第一教室招へい教員

### 所属学会

- 日本補綴歯科学会専門医
- 日本審美歯科学会認定医
- 日本臨床歯周病学会認定医
- 日本歯周病学会会員
- 日本歯科理工学部デンタルマテリアルシニアアドバイザー

Academy of Osseointegration (米国インプラント学会) Active Member